

／こんなことを話し合い、決めました／

9月 定例会

Topics

令和5年9月定例会は、8月28日から9月22日までの26日間の会期で行いました。令和4年度の一般会計・特別会計・企業会計決算が認定されたほか、令和5年度の補正予算、条例の制定や一部改正に関する議案などが提出され、慎重審査の結果、すべて原案どおり可決しました。

TOPIC

01

令和4年度一般会計決算など16議案を認定

令和4年度一般会計決算では、歳入総額が前年度比5.7%増の404億5,130万2千円、歳出総額が前年度比7.1%増の383億8,107万円となりました。

議案は、決算審査特別委員会での審査を経て、本会議で可決しました。



▲長岡第四小学校完成予想図

■主な歳出の内容

新型コロナウイルス感染症や物価高騰など喫緊の課題に対応

低所得世帯や子育て世帯への給付金事業、交通事業者への燃料費支援や農業者への肥料・農薬などの安定的な確保を支援、市民生活・事業活動の省エネ・エネルギー転換を後押しするなど、地域経済の下支えや事業者の事業継続を支援

今後の「まちづくりの礎」となる条例や計画を策定

令和4年度は市制施行50周年の節目の年となり、先人の取り組みに敬意を表するとともに、次の50年も成長するまちであり続けることができるよう、自治振興・商工振興、文化財の保存活用など、まちづくりの礎となる条例や計画を策定

将来へつなげる戦略的な取り組みを実施

京都済生会病院の新築移転に合わせた公共交通の利便性向上と利用促進を図りつつ、阪急長岡天神駅周辺などの市街地整備の推進、長岡第四小学校の再整備や長岡第九小学校の給食室整備などを実施

新庁舎（I期）の供用を開始

令和5年2月に新庁舎（I期）の供用を開始し、新庁舎では、デジタル時代に対応した手法を積極的に採用し、「書かない」「待たない」「行かなくてよい」市役所の実現に向けたシステムを構築するなど、市民サービスを向上

けんこう
長岡京市立健幸すぽっと設置条例の制定について



▲長岡京市立健幸すぽっと完成予想図

開設後50年近くが経過し、施設の老朽化が課題となっている老人福祉センター竹寿苑は、介護予防機能を新たに付加した施設として再整備されます。

条例上の施設の設置目的は「高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することで、高齢者の介護予防、社会参画、世代間等の交流及び相互理解に寄与するとともに各種相談へ応じること」と規定し、施設の名称についても「健幸すぽっと」に改めています。

施設の供用開始は令和6年11月頃を見込んでおり、本条例は、別途、規則で定める日から施行されます。

長岡京市国民健康保険条例の一部改正について

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行を受けて、国民健康保険法の一部が改正され、出産被保険者に係る産前産後期間の所得割保険料及び均等割保険料を軽減する制度が設けられたことから改正を行うものです。

なお、この条例の改正は令和6年1月1日から施行されます。

令和5年度一般会計補正予算（第3号）8億5,920万2千円増を可決

今回の補正予算は、歳入歳出それぞれ8億5,920万2千円を追加するもので、予算総額は351億7,460万9千円となりました。

議案は、予算審査常任委員会で審査され、本会議において可決されました。



▲長岡京市役所新庁舎完成予想図（北側）

■主な歳出の内容

総務費

- * 令和7年度の第2期庁舎への移転に向けた必要な費用を計上

土木費

- * 障がいの有無を問わず、誰もが自由に遊べる公園として「（仮称）粟生畑ケ田公園」を整備するための費用を計上

教育費

- * 教職員の業務改善を図るため、タブレット端末を校長や教頭、教務主任などへ配付するための費用を計上
- * 小・中学校に不登校支援員を配置するなど、不登校児童・生徒に対する支援の充実を図るための費用を計上
- * 計画的に進めることとしている小・中学校の体育館照明のLED化について、実施に必要な費用を計上